

平成 26 年 度

一般財団法人秩父地域地場産業振興センター
事業報告書及び決算報告書

《 第 32 期 》

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

法 人 名 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター

代表者職氏名 理事長 久 喜 邦 康

所 在 地 埼玉県秩父市宮側町1番7号

平成26年度事業報告

<事業の概要>

当センターは、秩父地域における地場産業振興の拠点施設としてオープン以来、国・県及び秩父市並びに関係諸団体と連携し、地域産業振興のための各種事業を実施してきた。

平成26年度においては、新たに「地場産品販路開拓事業（ネット販売事業）」を受託した。

広域秩父産業連携フォーラム(FIND Chichibu)の活動を中心とした「産学官連携事業」・「産学官コーディネート事業」、「ちちぶ空き家バンク事業」等の地域産業振興事業を積極的に実施した。その中でも「産学官コーディネート事業」においては、専門家（中小企業診断士等）の相談、指導回数を大幅に増やし、継続して支援、指導できる体制に拡充された。

また、昨年の大雪で被害にあったアーケードの改修を秩父市、各町の支援を頂き行った。

尚、各事業実施内容については、次のとおりである。

1. 産学官連携事業(秩父市補助事業 総事業費 1,600,730 円、秩父市より 800,000 円)

(1) 近隣大学・国公設試験機関及び支援機関と地元企業の交流

① 講演会(セミナー)・交流会の開催

i 「岸博幸氏講演会」(ビジネス講演会)の開催

日時 平成27年3月19日(木) 18:30~20:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 4階 大ホール

内容 テーマ「日本経済のゆくえと秩父の活性化戦略」

講師 慶応義塾大学大学院教授

グループ・ホールディングス(株)顧問

エイベックス・マーケティング 取締役 岸 博幸 氏

参加者 地域内企業、行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員

一般地域住民等

約320名

ii 先輩経営者に学ぶ講演会の開催 ~ 秩父ビジネススクール(オープンスクール)

イ 日時 平成26年 6月16日(月) 18:30~21:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

参加者 地域内企業、行政機関、FIND Chichibu 会員等 31名

内容 「国内外での当社の事業展開とおもてなし経営について」

講師 カネパッケージ(株)

代表取締役 金坂 良一 氏

ロ 日時 平成25年 8月25日(月) 18:30~21:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

参加者 地域内企業、行政機関、FIND Chichibu 会員等 27名

内容 「事業承継の道と今後の事業展開について」

講師 イーデーエム(株)

代表取締役社長 安達 拓洋 氏

ハ 日時 平成26年11月26日(水) 18:30~21:00

場所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

参加者 地域内企業、行政機関、FIND Chichibu 会員等 25名

内 容 「事業創造と事業再生・新規事業開拓について」

講 師 MFS(株) 代表取締役 梅川 真明 氏

iii 「FIND Chichibu 総会」開催

日 時 平成26年6月23日(月) 15時～

場 所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○広域秩父産業連携フォーラム FIND Chichibu 総会

○コーディネート事業の紹介

○パネルディスカッション～女性移住者を迎えて

○交流会：食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー

参加者 地域内企業、大学・研究支援機関、金融機関、行政機関、
地域内会議所・商工会 町議会議員 等

60名

iv 「FIND Chichibu 中間報告会」(成果発表会)開催

日 時 平成27年 2月23日(月) 15時～

場 所 (一財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○FIND Chichibu 成果発表会

・コーディネート事業報告

専門コーディネータ 中小企業診断士 江田 元之 氏

・交流部会活動報告 部長 吉田 智 氏

・分科会活動報告

ちかいなか分科会 分科会長 依田英一郎 氏

食文化地域活性化分科会 分科会長 小泉 貴之 氏

秩父ビジネススクール運営分科会 分科会長 山根 義法 氏

輸出推進調査研究分科会 分科会長 中村 雅夫 氏

地域農産物活用分科会 分科会長 中村 雅夫 氏

予測研究分科会 分科会長 山口 秀樹 氏

IT×ビジネス×秩父分科会 分科会長 南 強志 氏

エコノミースクール運営分科会 分科会長 小笹 和寿 氏

住環境デザイン研究分科会 分科会長 廣瀬 正美 氏

未来エネルギー研究分科会 分科会長 木村 勤 氏

○交流会：太白芋&食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー

参加者 地域内企業、支援機関、金融機関、行政機関、地域内会議所・商工会等

54名

(2) 秩父地域の総合ポータルサイト(FIND Chichibu ポータルサイト)の充実と活用

新会員のポータルサイトの掲載を促進するとともに既存ページの更新に努めた。

今年度は、新規登録 0社、脱退削除 9社 登録企業数 152社(3月末現在)

ポータルサイト問い合わせ数 106件(月別 下表)

26年 4月	14	26年 8月	6	26年12月	6
26年 5月	7	26年 9月	8	27年 1月	4
26年 6月	12	26年10月	13	27年 2月	5
26年 7月	11	26年11月	6	27年 3月	14

(3) 研究開発の促進・中核的支援機関との連携

「彩の国地域プラットフォーム」の支援機関として、中核的支援機関である(公財)埼玉県産業振興公社や(公財)さいたま市産業創造財団等各支援機関との連携を密にした。

2. 産学官コーディネート事業：秩父市委託事業(定住)

中小企業相談・指導実績を有する中小企業診断士を専門コーディネータとして招聘し、毎週火曜日と水曜日に地域コーディネータの加藤氏と秩父市企業支援センター職員や近隣町職員等と共に企業訪問し、企業が抱える課題、問題克服の助言、指導を行った。

臨時スポットでは、より専門的な相談依頼を受け、NPO 法人ネットワークさいたまの推薦により、専門家を計3回派遣いただき、具体的な相談・指導に応じた。

本事業は、企業との信頼関係が重要であり、年月を重ねることで、コーディネータと相談企業との信頼関係が構築され、より深層部分の相談に発展し、具体的なアドバイスにより問題解決へとつながるケースが見受けられるなど実績へとつながる企業が現れている。

FIND Chichibu の総会及び中間報告会では、活用事例を紹介し、本事業の啓蒙をはかった。

(1) 活動実績

①総活動日数 99日

②人員別活動日数

〔専門コーディネーター〕 江田元之氏：44日 高浪正一氏：19日

高澤 彰氏：22日 阿部芳文氏：11日 掛川昌俊氏：3日

〔地域コーディネーター〕 加藤薫一氏：93.5日

(2) 訪問実績

①総訪問数：212社 ②相談会来所先数24社 ③各種相談・助言先数：201社

(3) 主な成果

①支援機関連携

国の「(関財)リレバン」が伝えられる中、タイムリーに市のコーディネート事業が拡充されたことから、支援機関(4町、金融機関、商工会議所、商工会等)を訪問し連携依頼。事業計画等連携して企業支援を実施した。

②集中支援

市のコーディネータ事業拡充に伴い、啓発中心から個別企業診断、必要により特別診断等の集中支援を実施した。

③人材育成

経営層幹部社員を対象に、「経営革新計画」作成を通じ理念や自社の課題について啓発(気づき)と対策(具体的施策)を実践指導中(集中支援)

多能工化施策として「技能士等資格取得」啓発と、県人材育成課を通し県立職業能力開発センターへ講師派遣依頼。

「エコノミースクール」の企画推進指導・セミナー、企業視察を実施。

④各種補助金

ものづくり補助金申請書作成支援(集中支援)を実施し、採択を得た。

ものづくり補助金、持続化補助金、省エネ補助金、英文 HP 作成補助金、海外展開戦略支援事業、再生可能エネルギー熱利用加速化支援対策費補助金等の制度説明や活用について啓発した。

⑤ 5S 取組

啓発活動や、工場内レイアウト作成、場所の明示、改善項目の設定、作業工程表、の作成と現場実践指導を実施した。

⑥ 特別診断

CO2 削減目標達成の為具体的な改善を支援する。

金融機関取引先を連携して再生支援取組中。

⑦ 連携支援

市報を見て来所、税務、組織変更（メリットとデメリット）、事業承継（タイミング）についてのご相談（相談先について悩んでいて喜ばれた）

秩父の伝統的工芸品である「秩父銘仙」調柄を参考に手下袋作成支援（お菓子屋さん）

※市の支援（企業支援センター、商工課、銘仙館）

専門家への相談依頼手配 ①県のよろず支援拠点（販路開拓、デザイン、HP）、②産業振興公社（輸出契約）、③知的財産センター（商標）

⑧ 環境経営の推進

昨年に引き続き、「環境で儲ける」をキーワードに「省エネ診断」また、環境負荷の低減の視点で啓発。

3. 秩父地域活性化推進事業（秩父地域活性化研究会）

（1）全体会議等

- | | | | |
|--------|---------------------|------------|-----------------|
| ① 総会 | 平成 26 年 6 月 20 日(金) | 18 時～ | レストラン マチエール |
| ② 視察研修 | 平成 27 年 3 月 16 日(月) | 目的地 | 東京都 下町～山の手 |
| ③ 役員会 | 平成 26 年 5 月 25 日(金) | 18 時 30 分～ | 地場産 4 階 402 会議室 |

（2）研究会

- | | | | |
|---|---------------------|--------|---------------------|
| ① | 平成 26 年 7 月 5 日(土) | 18:30～ | 横瀬・棚田「ホタルかがし火まつり」見学 |
| ② | 平成 26 年 8 月 28 日(木) | 15:00～ | 小鹿野氷景スイーツ実食(須崎旅館) |

4. 空き家バンク運営推進事業：秩父市委託事業(定住)

ちちぶ空き家バンク正副委員長会議、及び全体会議を年間 7 回開催し、各行政、宅建協会秩父支部、ちかいなか分科会、事務局の各担当者により事業の運営について協議し情報の共有等を行った。

空き家バンク HP を大幅に改修し、空き家登録物件の情報提供や専門アドバイザーの紹介、各行政の優遇支援策等の掲載を見直した。また、新たに移住者紹介ページ『移住者の声』を設置し、秩父地域への移住希望者に対して生の声を届ける環境を設けた。

8 月には移住者との意見交換会を開催し移住者の貴重な生の意見を聞いた。

また、東京国際フォーラムにて開催された「ふるさと回帰フェア 2014」出展、「秩父はんじょう博」出展、東京有楽町で「田舎暮らしセミナー」を開催するなど、移住希望者に対する説明会を多く企画、実施した。

11月には、毎年好評頂いている「現地物件見学ツアー」を実施した。ツアーは多くの方に参加いただき、物件見学だけではなく、秩父地域の風土や食を体験してもらった。

- ・空き家バンク推進会議 全7回
- ・利用登録者数 273人 (H27.3.31 現在)
(圏域内…33人、圏域外…240人)
- ・登録掲載物件数 45件 (H27.3.31 現在)
(秩父市…20件、横瀬町…13件、皆野町…5件、小鹿野町…5件、長瀬町…2件)
- ・成約物件数 売買物件数…16件、賃貸物件数…2件
- ・圏域外成約数 14名
- ・空き家バンクH・Pアクセス数 73,868件 (H27.3.31 現在)



9月「ふるさと回帰フェア2014」



11月「現地物件見学ツアー」

5. 地場産品販路拡大事業：秩父市委託事業（ちちぶ定住自立圏）

ちちぶ定住自立圏の産業振興事業として秩父市より委託を請け、これまで当センターHP内 (<http://www.jiba.or.jp/>) にあった「秩父ふるさと便」の大幅リニューアルを行い、独立した通販サイト (<http://hurusatobin.com/>) として平成27年3月26日に運用を開始した。

新しい秩父ふるさと便は商品販売のみならず、商品の背景にあるストーリーや観光情報も伝えたいという趣旨のもと構築を行った。自治体HP、観光情報サイトとの連携、作り手の顔が見える工夫をし、地域とともに成長していくサイトを目指す。

(1) カテゴリー別掲載商品数：計164点

カテゴリー別商品数	
食品	105点
飲料	40点
服飾・雑貨	7点
工芸品	2点
本/DVD	4点
キャラクター商品	6点

リニューアルにより、今後は季節によって掲載商品を変えたり、新商品など業者がPRしたい商品をすぐに追加したり出来るようになる。

※従来のページより51点増加している。

(2) 地域別参加業者（団体）数：46社

秩父市	横瀬町	皆野町	長瀬町	小鹿野町	その他
29社	2社	2社	2社	8社	1社

6. 需要開拓事業

(1) 物産展・市民まつり等イベント催事への参加

下表の物産展・市民まつり等のイベント催事に積極的に参加出展し、秩父地域及び地域の物産を広く紹介・宣伝・販売を行った。

物産展・市民まつり等イベント催事出展一覧表

期 日	出展場所	催 事 名
4月11日～5月6日	羊山公園	芝桜まつり特設販売
6月8日	秩父ミュージアムパーク	チャレンジロードレース大会
7月12日～13日	桐生地場産センター	2014 じばさん夏の市
8月20日～26日	東京都庁	秩父路観光キャンペーン
9月13日～15日	山梨県地場産業センター	地場産業まつり
9月28日	秩父市立大田小・中学校	第62回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会
10月18日	荒川水循環センター	下水道フェスタ 2014
10月26日	秩父駅前前有料駐車場	秩父地域開通 100 周年記念イベント
11月8日～9日	東村山市役所周辺	第 53 回東村山市民産業まつり
12月7日	彩の国さいたま芸術劇場	埼玉伝統芸能フェスティバル
12月13日～14日	桐生地場産センター	2014 じばさん冬の市
2月20日～22日	山梨県地場産業センター	26 年度春の地場産業まつり

*延べ51日間

売上14,031千円

(2) イベント等の開催

①地場産まつりの開催

i. 春の地場産まつり

- ・期 間 平成26年4月11日(金)～5月6日(火)
- ・会 場 1階エレベーター前・店頭・2階休憩コーナー
- ・内 容 試飲・試食コーナー・写真展の開催

ii. 夏の地場産まつり

- ・期 間 平成26年8月14日(木)～16日(土)
- ・会 場 地場産センター2階展示コーナー・1階エレベーター前
- ・内 容 体験教室のイベントを開催してお盆期間中の集客増進を図った
イ.夏休み一研究日替わり体験コーナー (木工・押し花)

- ・ 木材利用拡大検討会にて夏休み木工教室
- ・ クリエイト (引間様) 押し花教室

ロ.大抽選会 (2階展示コーナー)

② その他特設コーナー

季節感を考慮しながら物産館1レジ及び4レジ前平台に特設コーナーを設置し、販売促進に努めた他特に1レジ前には年間を通じて「あの花」のグッズを展示販売した。

4月11日(金) ～ 5月6日(火) 芝桜フェア

(3) メディアを利用した地域PR

テレビ埼玉情報紹介番組「ごごたま・ちちぶなう」でセンター、地域情報、地場産品等の紹介・宣伝を行った。

その他雑誌等への情報提供、資料提供は随時行った。

7. 情報対策事業

ホームページの活用

ホームページの内容を随時更新し、センターの業務案内、物産館におけるネットショッピング（平成27年3月に地場産品販路開拓事業により全面改修を行った。）、貸館施設利用の申し込み等を実施した。

情報トピックスにて、各種イベント案内や、物産館おすすめ商品の発信に努めた。

尚、地場産品販路拡大事業を受託し、「秩父ふるさと便」の大幅リニューアルを実施し、独立した通販サイトを立ち上げた。通販のみならず秩父地域の情報発信に努める。（5. 地場産品販路拡大事業参照）

8. 観光誘客事業

(1) 旅行者への営業活動

団体旅行客誘客のため、首都圏をはじめ、東北・東海・中部地方等の旅行者を訪問し、秩父地域への誘客及び当センターの食事を含む買物立寄りの営業を行った。

特に平成26年6月に圏央自動車道が全面開通し、神奈川、静岡方面から観光客の誘引が期待できるため、秩父市観光課の担当職員をはじめ、秩父地域の観光施設と同行営業し、PR活動に努めた。

また、旅行者からの要望もあり、「食べ歩き」などワンストップで設定の出来る地域観光施設のパッケージ商品を作成し販売を行った。



- ・訪問営業日数 47日（25年度50日）
- ・訪問件数 538件（25年度601件）

(2) 添乗員、乗務員休憩室の整備

2階レストラン前にて、前年同様休憩室を設置し、添乗員・乗務員等に休憩スペースを提供すると共に各種パンフレットを整備し誘客宣伝に努めた。

9. 施設利用促進事業

(1) 会議室等の貸出

センター施設（多目的大ホール、大小会議室、相談室等）を地域内の企業、団体の会議、研修会、展示会等に貸出した。

貸館の利用回数は 前年比 90.6%と減少したが、使用料は前年比 104.2% と減少した。

センター施設利用状況表

月	25年度		26年度		比較増減	
	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)
4月	134	651	108	597	-26	-54
5月	154	723	111	685	-43	-38
6月	154	1279	114	1281	-40	2
7月	108	693	95	721	-13	28
8月	90	561	85	619	-5	58
9月	132	1745	121	1461	-11	-284
10月	137	1133	149	1472	12	339
11月	144	1035	157	1184	13	149
12月	114	710	83	749	-31	39
1月	94	795	96	917	2	122
2月	107	1179	104	926	-3	-253
3月	107	710	114	1077	7	367
合計	1475	11214	1337	11689	-138	475

※ 上記金額は一般貸出の使用料

※ 回数には、無料貸出及びセンター自主事業(会議等)が含まれる。

(2) レストラン経営等委託事業

地産地消を付加価値とした高単価なメニューを回転率の高い個人客に提供する方向性であったが、客足が伸びないことから、団体客・宴会の受け入れ、施設利用者への営業による会議弁当・昼食の受注、期間限定のメニュー開発販売などの取組みを行い、新たな客層開拓へ積極的に取り組んだ。

特に今年度は午歳総開帳に伴う団体昼食の予約により、期間中は団体と個人客を二回転させるなど予約方法を工夫し、売上増加に繋げた。(売上昨対比 159.9%)

秩父茶房レストラン春夏秋冬 実績表

	25年度客数	26年度客数	比較増減	増加率(%)
4月	1,270	2,329	1,059	183.4
5月	1,544	2,712	1,168	175.6
6月	941	1,587	646	168.7
7月	943	1,414	471	149.9
8月	1,586	2,060	474	129.9
9月	1,414	1,945	531	137.6
10月	1,307	2,452	1,145	187.6
11月	1,966	3,125	1,159	159.0
12月	1,367	1,962	595	143.5
1月	1,268	2,910	1,642	229.5
2月	437	2,225	1,788	509.2
3月	1,216	1,216	0	100.0
合計	15,259	25,937	10,678	169.9

10. 地場産品展示販売事業

(1) 物産館の運営

秩父地域の特産品(織物製品、民芸品、地酒、ワイン、銘菓、惣菜、食料品、野菜類等)

を主に1階物産館において広く展示紹介、販売を行った。

4月・5月は芝桜の開花時期にあわせてツアー団体客・観光客が訪れた。当館への立寄り人数は4月において、前年比124.6%であり、5月は前年比123.0%だった。売上についても前年比155.1%と大変好調だった。GW以降についても季節感あるディスプレイをこころがけ、歳時にあわせたイベントを実施した。秩父夜祭は、昨年同様店舗を一部改装して実施した。12月2日から4日の売上は昨年比98.3%の実績であった。

今年度は札所総開帳もあり例年を上回る集客数、売上高の増加を図ることが出来た。その他、電話注文、ネット販売については、固定客による再々注文などがあり、売上の増加につながった。

物産館売上表 (単位：千円)

月	25年度	26年度	比較増減	増加率(%)
4月	19,213	24,092	1,879	125.4
5月	30,669	36,510	5,841	119.0
6月	11,578	15,136	3,558	130.7
7月	13,753	17,454	3,701	126.9
8月	22,409	24,666	2,257	110.1
9月	17,237	18,877	1,640	109.5
10月	17,439	22,185	4,746	127.2
11月	23,748	27,808	4,060	117.1
12月	23,353	22,473	-880	96.2
1月	18,537	16,824	-1,713	90.7
2月	7,440	12,674	5,234	170.3
3月	19,365	14,516	-4,849	75.0
合計	224,741	253,215	28,474	112.7

(2) 地元小中学校の課外学習等受入

① 中学生社会体験チャレンジ事業

- ・秩父市立秩父第一中学校

期 間 平成26年7月8日(火)～10日(木)9時30分～16時(休息含め6時間半)

参加者 中学1年生 男子3名

- ・秩父市立秩父第二中学校

期 間 平成26年8月26日(火)～28日(木)

参加者 中学2年生 男子2名

② 小学校社会科見学

- ・西小学校 2年生 平成26年10月10日(金) 20名

11. 管理運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

次のとおり理事会を行い、原案どおり承認可決された。

i 第1回 理事会

・月 日 平成26年5月20日(火)

・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

・協議事項

議案第1号 平成25年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター事業報告及び決算報告について

議案第2号 平成25年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター公益目的事業計画実施報告書の承認について

議案第3号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター定時評議員会の日時、場所及び提出議案について

ii 第2回 理事会

・月 日 平成26年6月24日(火)

・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

・協議事項

議案第1号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター副理事長及び専務理事の選定について

iii 第3回 理事会

・月 日 平成26年11月7日(金)

・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

・協議事項

議案第1号 平成26年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター補正予算(案)について

iv 第4回 理事会

・月 日 平成27年3月25日(水)

・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

・協議事項

議案第1号 平成27年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター資金運用計画(案)について

議案第2号 平成27年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター事業計画(案)及び予算(案)について

議案第3号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター職員退職給与引当金の積立について

② 評議員会の開催

次のとおり定時評議員会を行い、原案どおり承認可決された。

・月 日 平成26年6月24日(火)

・場 所 一般財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

・協議事項

議案第1号 平成25年度一般財団法人秩父地域地場産業振興センター事業報告及び決算報告について

議案第2号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター役員の選任について

議案第3号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター評議員の選任について

議案第4号 一般財団法人秩父地域地場産業振興センター常勤理事(専務理事)の役員報酬額の決定について

(2) その他の会議の開催

上記の会議の他、必要に応じ管理運営に関する会議・打合せ会を開催するとともに、当センターが事務局をしている「秩父観光文化施設連絡協議会」・「地場産センター物産館協力会」・「お菓子な郷推進協議会」の会議をそれぞれ開催した。

(3) 各種会議等への出席

① 全国地場産業振興センター協議会総会

- ・月 日 平成26年7月17日(木)～18日(金)
- ・場 所 (一財)燕三条地場産業振興センター (新潟県・三条市)
- ・参加者 2名 (山田専務・亀井係長)

② 関東経済産業局管内地場産業振興センター協議会

i 協議会総会

- ・月 日 平成26年 7月2日(水)～3日(木)
- ・場 所 (公財)南信州・飯田産業センター(長野県・飯田市)
- ・参加者 1名 (山田専務)

ii 協議会(事務担当者会議：人材育成研修同時開催)

- ・月 日 平成26年11月5日(水)～11月6日(木)
- ・場 所 (一財)山梨県地域地場産業振興センター (山梨県・甲府市)
- ・参加者 2名 (山田専務・新井事務員)

(4) 研修会への参加

① 地場産センター職員改善会議

- ・講 師 専門コーディネータ (中小企業診断士) 高澤 彰氏
- ・月 日 平成26年 4月16日 (水)、平成26年 5月20日 (火)
平成26年 6月17日 (火)、平成26年10月21日 (火)
平成26年11月11日 (火)、平成26年12月10日 (水)
平成27年 1月21日 (水)、平成27年 2月18日 (水)
平成27年 3月18日 (水) 全9回 18:30～
- ・参加者 10名 (役職員全員)

② 地場産センター職員物産館勉強会

毎月原則第2金曜日に物産館パート職員も含めたセンター役職員全員で、物産館における取扱商品の試食会及び勉強会を実施した。

③ その他研修会

上記のほか雇用保険事務、雇用対策政策説明会、建築物衛生講習会、一般社団・財団法人運営セミナーなど、販売員も含めて積極的に職員を派遣参加させた。

④ 会議出席

元気アップ推進会議、秩父観光祭実行委員会、環境市民会議、秩父地域森林林業活性化協議会、秩父観光協会、アニメツーリズム実行委員会、午歳総開帳誘客促進協議会、芝桜実行委員会、秩父宮杯自転車競走大会運営委員会、都市と森をつなぐ再生可能恵那ルギー協議会等、地域内各種機関団体の会議に参加した。

(5) 施設管理等

センター前アーケード修繕工事の実施。

センター内設備の老朽化に伴う主な修繕は以下のとおり。

- ・各トイレの不良箇所修繕
- ・消防設備の修繕